



2019年5月10日

各位

会社名 株式会社 京都ホテル
代表者名 代表取締役社長 福永 法弘
(コード 9723 東証第二部)
問合せ先 取締役経理部長 西川 治彦
(TEL 075-211-5111)

通期業績予想値と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2018年5月9日に公表しました、2019年3月期(2018年4月1日～2019年3月31日)の通期業績予想値と実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、特別損失の計上についても、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と実績値との差異について

2019年3月期通期個別業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	10,352	435	250	120	10円82銭
当期実績値(B)	10,573	563	391	174	15円72銭
増減額(B-A)	221	128	141	54	—
増減率(%)	2.1	29.4	56.4	45.0	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	12,715	566	323	269	24円29銭

※ 決算期変更による15ヶ月決算

(修正の理由)

営業面において、外国人観光客を中心とする宿泊客が引き続き好調だったこと、大型宴会等の獲得増加などにより宴会部門が好調に推移したことに加え、原価管理の強化をはじめ諸経費の削減につとめた結果、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益は所期の予想を上回ることになりました。

2. 特別損失の計上について

- ① ホテル内の改装工事等に伴い、固定資産除却損を91百万円計上しております。
- ② 「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産の減損処理を実施し、40百万円を特別損失として計上しております。

これらにより上記を含む特別損失は合計138百万円となりました。

上記の特別損失は、本日付にて公表いたしました「2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」に反映しております。

以上